

韓国留学報告書

情報文化学科 2年 大桃 周

・はじめに

私たち、韓国留学組は、8月31日から12月26日の4か月間、韓国のソウル市にあるキョンヒ大学に語学研修として留学してきました。この留学の大きな目的は、語学勉強であると思いますが、私にはほかにも様々な目的がありました。私にとって、日本を出て、ほかの国に行くというのは初めてのことで、出発前から不安よりも向こうでどのようなことがあるのか、わくわくした気持ちでした。実際に、韓国留学では、自分の知らなかったことなど、毎日新鮮な体験ができ、私にとってとても刺激になった留学生活でした。

・大学での授業

大学での授業は、午前9時から13時までの語学の授業と午後の私たち国情生だけの文化の授業がありました。授業のほとんどがキョンヒ大学の国際教育院という場所でおこなわれました。この国際教育院の目の前にある坂がとても急な坂で、毎朝いい運動をしていました。

私たちが、行った時期はちょうど韓国語学過程の新学期が始まるまえの長期休暇で、3週間みのプログラムに参加しました。そのプログラムでは、ほとんどが日本人で授業でも日本語がよく聞こえていました。授業では、主に韓国語の基本文法を学びました。この範囲は、国際情報大学の韓国語の授業で、学んできた範囲だったので、いい復習になりました。このプログラムには、テストはありませんでした。



3週間のプログラムがおわると、ちょうど韓国語学過程の新学期が、はじまりました。私たちは全員初級2のレベルで別々のクラスに分けられました。3週間の時と違い、日本人は少しいましたが、ほとんどが外国人で、会話では、韓国語のほかによく英語がきこえました。

授業は、すべて韓国語で行われ韓国語に不安があった私にとって最初の2週間は毎日の授業に必死についていくのが精いっぱいでした。しかし、3週間目あたりからはじめは聞き取ることが難しかった単語や言葉が自然に聞こえるようになってきて、授業に少し余裕ができるようになりました。韓国語に慣れてきて、すぐに行われた中間テストでも、自分でもびっくりするような点数をとることができました。そのあとの授業は、少し難しくなり、期末テストでは少し成績を落としてしまいましたが、留学前と比べてかなり上達できたのではと思いました。



午後の文化の授業では、曜日ごとに、韓国の文化、歌、映画、ゼミナールの授業がありました。韓国の文化の授業では、毎週学ぶことが変わり、韓国の遊び、音楽、楽器、テコンドー、書道、ダンス、公演など様々な韓国文化に触れることができ、とても楽しい授業でした。歌や映画の授業では、毎週韓国の歌を聞いて歌ったり、韓国の映画やドラマをみたり、韓国語を学びながら、韓国の歌や映画に触れました。ゼミナールの授業では、韓国の文化に関して、午後の授業を通して、自分が関心のあるものについて毎時間調べ、調べたものを韓国語で、原稿とパワーポイントを作り、最後の授業で一人一人発表しました。

・大学生生活

この4か月の留学での大学生生活は、とても楽しく有意義なものになりました。特に、外国の友達との時間がとても楽しかったです。新学期がはじまって、クラス分けがあり、私

は知り合いが一人のみのクラスでした。はじめは、この外国人が多いクラスで友達を作ればいいかとても不安でした。そんな不安ばかり考えていて、あまり人見知りのような自分にクラスみんなはフレンドリーに接してくれました。特に、私によく接してくれたのは、トルコとオーストラリアと香港の友達でした。なかには、日本の人もいて、クラスはとても過ごしやすい場所になりました。徐々に、クラスみんなと仲良くなってきて、授業がとても楽しくなってきました。授業が終わった後や、休日の日は外国の友達と遊ぶことが多くなりました。外国の友達とあそんだり、ご飯を食べに行くことは、韓国語の勉強になるほかに、様々な国の文化などを知るいい機会になっていました。その時には、自分から質問をするときもあったのですが、よく日本の事をきかれることもありました。外国の友達のほとんどが日本についてとても興味関心があり、私も日本について話している時は、とても楽しかったです。そして、外国に行く時には、まず自分の国の文化についてよく知っておくことが大切ということを知りました。

特に、トルコの友達と香港の友達とよく遊びました。トルコの友達は、サッカー好きで私もサッカーがとても好きで、初めの自己紹介の時私がサッカーが好きですと言うと、すぐに話しかけてくれて、その後もよくサッカーについて話していました。私が留学での目的の一つが韓国のサッカー観戦に行くことでした。トルコの友達の紹介で韓国の友達ができ、その韓国の友達にサッカー観戦を2回つれていってもらえました。日本よりも観客が少なかったのですが、スタジアムの雰囲気はとてもよく、楽しく観戦することができました。香港とオーストラリアの友達とは、よくご飯を食べに行っていました。毎回違うお店にいき、様々な料理を食べ歩いていました。韓国料理はほとんど辛いものですが、私は元々辛いのが平気だったためとても美味しくたべていました。特に、よく焼肉の店に行き、いつも美味しく焼肉を食べていました。しかし、時々とても辛く辛いものがあり、汗をかきながら食べることもありました。そして、私の周りの友達は年上が多かったので、私が誕生日を迎えて、二十歳を超えてからお酒を飲みに行くことが何度かありました。ある時、かなりのお酒を飲んでしまって、次の日の授業に影響が出てしまったこともあるので、お酒の飲み過ぎには注意しようとおもいました。

韓国語過程の途中で、1泊2日の現地学習がありました。現地学習では、ソーラク山に登りました。この時韓国の気温は寒く、かなりの厚着をしていきました。宿舎では、トルコの友達とフランスの友達と同室になりました。違う文化の人達と同じ部屋で、とてもいい経験になったとおもいます。

もう一人留学での大学生活にかかせない人がいます。それは、トウミです。トウミは、留学生一人一人に対して、大学側がサポート役のような感じで、キョンヒ大学生がついてくれるというものです。私のトウミは、週一でソウル市の様々なところを案内してくれました。案内してくれている途中やご飯を食べている時に、毎回私の韓国語の勉強を手伝ってくれました。

今回の留学で、たくさんの外国の友達を作ることができました。私は、他の留学生と比

べて、韓国語があまりうまくなかったのですが、仲良くしてくれた友達は多くいました。今回できた友達はこれからも連絡を取って、会える機会があれば絶対に会おうとおもっています。



・韓国での衣食住

留学の4ヶ月間は、キョンヒ大学の寄宿舎に住んでいました。私達の寄宿舎はキョンヒ大学の寄宿舎の中でも、新しい寄宿舎で、綺麗なところでした。電子レンジ、IHコンロがありました。寄宿舎の目の前にはスーパーもあり、自炊が簡単にできる状況でした。私は、自炊より外食するほうが多かったのですが、自炊するときは、チャーハンやラーメンを食



べることがおおかったです。お風呂は寄宿舎にはなく、シャワーのみでしたが、寄宿舎の目の前などに、チムヂルバンというサウナや銭湯があり、私も一回いきましたが、安く何度も行きたくくなりました。

寄宿舎の隣には、駅があり簡単に出かけることができました。韓国の電車は、私達が日本で使っている Suica のようなものがあり、そのカードを使うと、どこに行ってもほぼ 100 円で行くことができました。このカードは、どこのコンビニでも買えるので、韓国に行つて電車に乗る時は、まずこのカードを買うことをお勧めします。

服は、韓国に着いた時はまだ 9 月で、暑いですが、10 月あたりからかなり気温が下がって寒くなってきます。11 月の後半には、コートを着ていても寒いような気温が毎日続くので、コートの中でかなり重ね着が必要になってきます。ソウル市は、新潟と違って多くの店があるので、韓国で服を買うこともできました。

私は、韓国で携帯を買いませんでした。日本で使っている携帯をそのまま使っていました。当然インターネット接続はできませんが、寄宿舎と大学には wifi が常にあり、それを利用して、連絡をとっていました。寄宿舎の wifi はたまに壊れてかなり困ったことも何度かあったのですが、4 ヶ月のりこえることができました。寄宿舎や大学の他にも、韓国にはスタバのようなコーヒー店が数多くあり、ほとんどのコーヒー店には wifi があるので、テスト勉強の時や友達と遊ぶ時などはその wifi をうまく活用していました。

・最後に

私は、この留學生活の 4 ヶ月間を通して、語学を上達させるには、学校での勉強や自分の勉強は大切ですが、それ以上に友達や自分以外の人との交流の中で、会話をするのがもっと大切だと思いました。私は、前に述べたように日本でも韓国語を勉強していましたが、あまり上達することができず伸び悩んでいました。韓国語での会話も最初はしどろもどろでした。しかし、友達と会話をしていくたびに少しずつちゃんとした会話ができていることを実感していました。文法や単語は初めは、教科書で勉強しなければいけませんが、それを使って会話をするのがもっと大切だと思いました。

今回の留學生活で、食事や言語など、私達がいつも住んでいた環境が少し変化しただけで、困ったことがたくさんありました。しかし、それも友達や先生方のおかげで、とても楽しく 4 ヶ月間過ごすことができました。本当にありがとうございました。この 4 ヶ月間は私にとってかけがいのない時間になったと思います。この 4 ヶ月間で得られたことを生かして、今後がんばって行こうと思います。